





専門力がせっかくあるのに…

「自己PR不足」や「ミスマッチ」で不採用はもったいない!

技術や人間性は伝わった部分だけが評価の対象に。  
面接は「自己PR力」が不可欠。



企業の社風と「合う・合わない」も評価基準。  
「自分に合う会社」を知ることが大切。



数百社以上あるゲーム・IT企業。  
すべてを一人で研究するのは難しい…

## ECCコンピュータの就職サポートが 学生と企業の架け橋に。

履歴書・面接を徹底指導

「自己PR力」をアップ!

就活に欠かせない自己PR。しかし、自分の強みや個性を把握して履歴書を書き、面接で伝えるのは難しいものです。そこで頼りになるのが就職サポート。本人も気づいていないアピールポイントを見つけ出して、履歴書の書き方・面接での伝え方を具体的に指導します。



学生と企業両方を知る担当者が

マッチングをサポート!

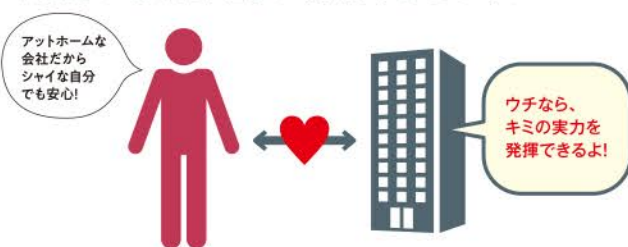
多くの学生は「自分の知っている企業の中から就職先を探そう」と考えます。しかし、学生が実力を発揮して活躍できる企業がそこにあるとは限りません。本校では、業界と太いパイプを持ち、社風まで把握している進路指導課の先生が学生一人ひとりの適性にあわせて企業を厳選し、紹介します。

## 専門スキル×自己PR×マッチングで 自分が活躍できる企業に就職!

「自己PR力」がアップして  
自分の技術や人間性をすべて伝えられるように!

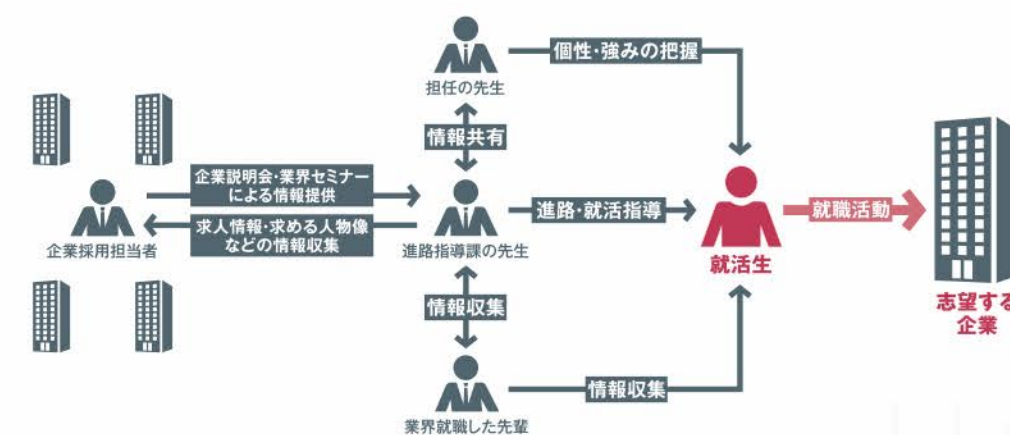


企業の社風をしっかり把握して  
「自分に合う会社」に就職できるように!



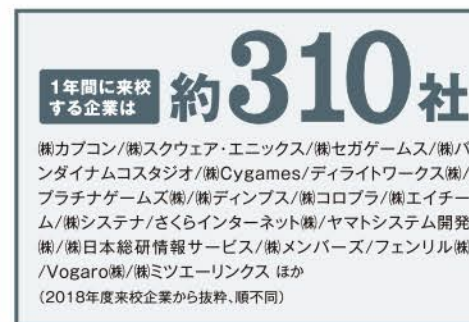
企業・卒業生とも連携

# 学生一人ひとりを学校全体で フォローする充実のサポート体制。



◎企業説明会・業界セミナー

企業の採用担当者や卒業生を招待。憧れの企業の仕事内容や求める人物像を直接聞くことができます。



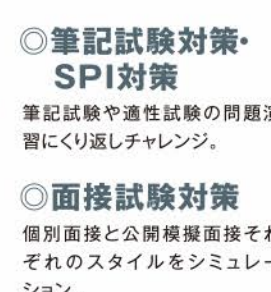
◎個別進路指導

全国の企業から一人ひとりに合った規模や社風の会社を紹介。



◎履歴書作成

志望する企業にあわせて「志望動機」になるように個別指導。



◎身だしなみ・マナー講習会

礼儀やマナー、身だしなみについて専任の講師がレクチャー。

◎作品発表会

ゲーム・IT業界で活躍するプロに自作をプレゼンするイベントを開催。

◎再就職・キャリアサポート

卒業生に対しても、転職・再就職などの進路相談や求人紹介などのサポートを実施。

内定者

Voice

高校時代、勉強が大嫌い。  
プログラミングも初心者だった僕が  
大手ゲーム会社  
から内定を  
いただきました!

2020年3月卒業予定  
ゲーム開発エキスパートコース  
ゲームプログラマ専攻〔4年制〕  
濱下さん

内定先との出会いは、2年生の作品発表会。

内定をいただいた会社とはじめて接点ができたのは2年生の時に参加した作品発表会です。現役のプログラマの方に作品を見ていただき、アドバイスをもらったり、自分の技術をアピールしたり、積極的にお話することで顔と名前を覚えてもらえました。まだ2年生でしたが「将来につなげたい!」と思っていたので事前に色々準備していましたね。オープンキャンパスのスタッフをしていた時に仲良くなった先輩からアドバイスされたのは「自己アピール用のチラシを作ること」。アピールポイントを順序立てて伝えられるので、スムーズに話せたと思います。3年生になってからも作品発表会で積極的にコミュニケーションを取り続け、採用担当者の方ともお話すうちに「あの会社に入りた!」という気持ちが強くなりました。担当の方からも「ぜひ、うちを受けてよ!」と誘われ、エントリー開始と同時に応募。何とか面接に進むことができました。

面接前、先生方のアドバイスで気持ちが楽に。

面接の前には、担任の先生や進路指導課の先生に話を聞いていただき、気持ちが楽になりましたね。池田先生には「あの会社は面接でこういうところをチェックしているから、濱下さんのこういう性格・エピソードを話せば気に入ってくれるよ」と勇気づけてもらいました。同級生の中には、「採用担当者にこういうメールを送っても失礼にならないか?」など活動内容について相談する子もいますね。学校からは他にも様々なサポートを受けていましたが、特にタメになったと思うのは模擬面接です。話し方や入室の所作などを教えてもらうのですが、コートのたたみ方にもルールがあるとは思ってもみなかったので教えてもらい助かりました。

大手ゲーム会社から内定をいただいた僕ですが、入学前はまったくのプログラミング初心者。入学後、プログラミング言語を覚えることから始めたのですが、今ではインターン

シップでNo.1の評価をいただけるまでになりました。印象に残っている授業は「ハイレベルプログラミングゼミ」。自分でテーマを決めて最先端の技術を学ぶのですが、研究成果をレポートにまとめてゼミ生や先生の前でプレゼンします。プログラミング能力はもちろんのこと、自分の考えが伝わるように話さなければいけないのでプレゼンスキルも成長できるんです。4年間で磨き上げたプログラミング能力とプレゼンスキルが就活で役立ったと思います。

ECCコンピュータへの入学を考える高校生へ。

学校の勉強に興味を持てず、プログラミングも初心者だった僕がECCコンピュータで4年間頑張った結果、有名なゲーム会社から内定をもらえました。専門分野についてとことん勉強し、就職サポートを積極的に活用すれば必ず結果はついてくると思います。

保護者  
Message

「やりたいことに出会えた時、  
子供は変わる」  
私も教えられた気がします。

高校時代は「勉強しなさい!」と口うるさく言っていましたが、入学後はすぐにゲームの世界に魅了され、遅くまで学校に残って勉強するようになりました。「大学受験が嫌だから専門学校に進学した!」と思っていたのですが、先生方や友人に恵まれて大手ゲーム会社から内定をいただけるほど成長し、今では無理に大学に行かなくてもよかったと思っています。学校の勉強に興味を持てなかった息子ですが、技術を習得し、自信を持って納得の行く人生を歩んでいけそうです。